

卒園式祝辞 未来へのメッセージ

本日は、卒園式に来園頂きありがとうございます。

まず、ひまわり組の皆さん、ご卒園おめでとうございます。

そして、保護者の皆様、今日この日を迎えられること、心よりお祝い申し上げます。

さて、ひまわり組の皆さん園長先生から最後の話しをしたいと思います。

アメリカでは、小学校に入学する前に、「マシュマロテスト」をしています。

教室で一人になり、椅子に座りテーブルの上にマシュマロ1つ置かれます。

先生がいいよというまで、マシュマロを食べなければ、もう一つマシュマロをもらえます。

マシュマロテストに合格すると、バッチがもらえます。

自分の食べたい気持ちをどれだけ「待つ」ことができるか?のテストです。

人生において、学校のテストが出来るよりも、どれだけ「待つ」ことができるかによって、人生の生き抜く力が決まります。

では、マシュマロテストとは何か?これは、ルールを守ることです。

これから、時間、学校、社会に支配されます。支配とはルールです。

時間のルール、学校のルール、社会のルール。

ルールを守り、ルールを破らず「待つ」ことが出来れば、人生を生き抜くことができます。

アメリカのスタンフォード大学で研究され、証明されていることの一つです。

ひまわり組の皆さん、たくさんのルールがある中で、園長先生から「ヒント」があります。

それは、1日のスタートとゴールを決めることです。

1日のスタートは何ですか? 1日のゴールは何ですか?

1日のスタートはランドセルを背負うことです。そこで、1日のスイッチが押されます。

1日のゴールはランドセルを下ろすことです。毎日同じ事を繰り返します。

いや、それは違うよと言う人もいます。1日は24時間です。

一つ考えてほしいことは、皆さんは何歳まで生きるでしょうか?生き続ける間、スタートとゴールを繰り返します。何歳になろうとも、スタートとゴールを繰り返すのです。

もし、自分のゴールが決まっていれば、目標が出来るはずです。ゴールがなければ、明確な目標がないので、時間だけが進みます。

皆さんは、「どんな夢がありますか?」「どんな生き方をしたいですか?」「どんな人生にしたいですか?」これがスタートとゴールを明確にしてくれます。小学6年生には、どんな仕事をしたいのかわえてくるはずです。スタートとゴールは簡単ではなく、難しいものもあります。

スタートとゴールを決めるのも、変えるのも皆さんです。

卒園式祝辞 未来へのメッセージ

ただし、スタートとゴールが出来ないこともあります。

もつとも、「出来る」と「一度で出来る」は同じではありません。

「学校」と「家」は同じではありません。

黒板の前で出来なかったことが、家では出来たかもしれません。

そこで必要になるのが、「ゴール」をどうするのか？国語の「ゴール」算数の「ゴール」。

小学校の「ゴール」そして、人としての「ゴール」をどうするのか？

国語の「ゴール」は、本を読めるようになることでしょうか？「ひらがな」を書けるようになることでしょうか？国語を教えられるようになることでしょうか？

とても難しいことですが、「ゴール」が決まっていれば、何をすればいいのかわかりやすくなります。

二つ目に考えてほしいことは、「スタート」する前の気持ちを忘れないことです。気持ちが冷め切ってしまうと「ゴール」を見失います。「ゴール」するまで、頑張ろうと決めた気持ちを保ち続けることが大事になります。

皆さんは、卒園式を迎え、保育園を「ゴール」します。

There is nothing like a dream to create the future.

『夢ほど未来を作り出すものはない』

「レ・ミゼラブル」の著者、ヴィクトル・ユゴー子爵（ししやく）の言葉です。

園長先生が学んだことの「答え」はスタートとゴールを繰り返し続けることです。

それが、人生をもっとも豊かにすると信じています。

ただし、人生は時間が限られています。少しでも早くスタートしゴールの回数を増やすことです。小学校にいて、自分らしい「ルール」でスタート出来ることを期待しています。

結びに、保護者の皆様、無事卒園を迎えることができたのも、たくさんの支えと、たくさんのヒントを頂けたからです。これからも、卒園児を応援し続けます。何かあればいつでも声をかけて頂けたらと思います。

本日のご卒園、誠におめでとうございます。

令和5年3月4日

光田寺保育園

園長 福士 敬博